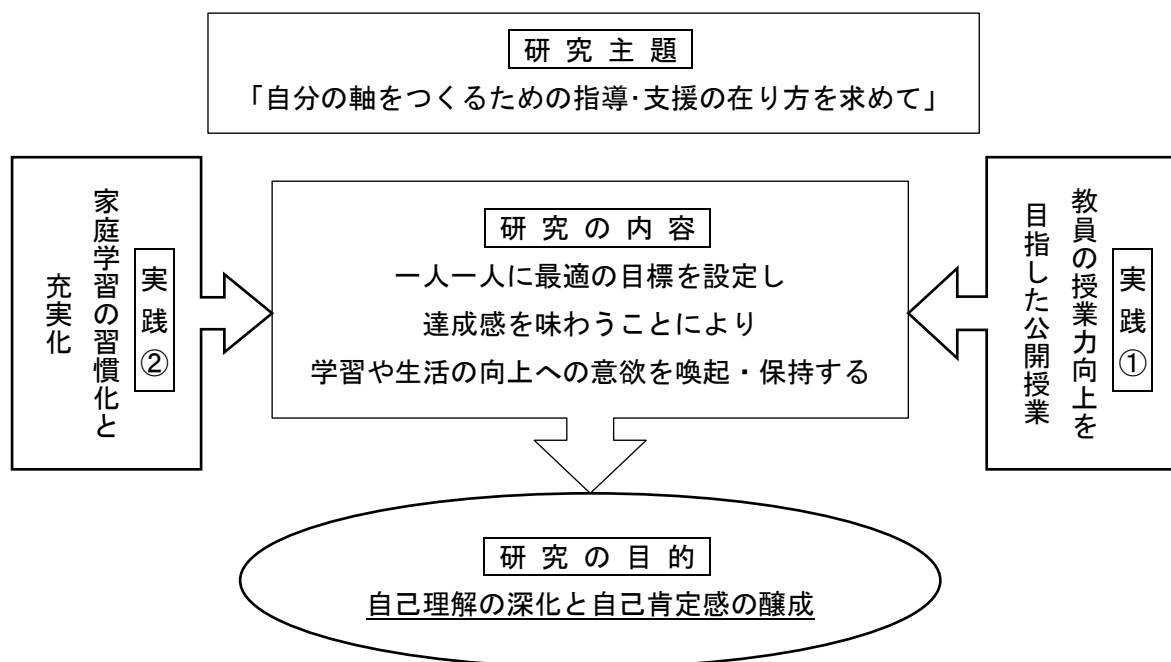


# 令和6年度 研究計画

R6.6.14 湖北中学校 研究部

## 1 研究主題と構想



## 3 実践の具体

### ① 教員の授業力向上を目指した公開授業

- ・教員自身が1年間取り組む課題を設定し、その課題改善を取り入れた授業を設定する。
- ・1人1回授業を公開する。学校評価の視点となるため12月初めまでに全員が終了すること。研修を深めるため3回以上は授業を見学する。できるだけ見学者ゼロはなくす。意見交換は「見学シート」(後日)で行う。

### ② 家庭学習の習慣化と充実化

- ・学校全体で目指す家庭学習に取り組む姿を共通理解する(図1)。
- ・各学年で目指す家庭学習に取り組む姿を設定し、その姿に向けた働きかけを考える。
- ・家庭学習習慣化から質的改善に向けて取り組んでいく。
- ・上記の取組を学校だよりや学年通信等で取り上げ、生徒保護者にも共通理解を図る。

### ※その他

- ・昨年度取り組んだ人権教育は継続して取り組む。
- ・道徳教育の重点的な取組について検討する。(後日)

段階	目指す姿	達成項目（案）
1	家庭学習習慣化	<input type="checkbox"/> 一定の時間、学習に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 学習に集中できる環境を整えている <input type="checkbox"/> 翌日の授業の用意をする <input type="checkbox"/> 定期テストに向けた学習へ取り組んでいる
2	学習内容・方法の充実化	<input type="checkbox"/> 計画を立てて学習に取り組む <input type="checkbox"/> 授業の予習や復習に取り組む <input type="checkbox"/> それぞれの教科にあった学習方法で取り組んでいる <input type="checkbox"/> 他に学ぶ姿勢をもつ
3	家庭学習の自立化	<input type="checkbox"/> 自分の目標と課題にあった学習計画を立て、取り組んでいる <input type="checkbox"/> 理解と暗記をくり返し、既習事項と新出事項をつなげて学習している <input type="checkbox"/> 学力テストや全国学力調査などを活用し、学習の解決・強化・定着を目指す学習をしている

(図1)

## 4 研究の計画

月	予 定	実施内容
5	研究部より研究内容説明	
6	研究部会（見学シート等について） 道徳部会（重点項目等について） 6年目研公開授業＜1回目＞（28日）	見学シート、具体例について検討、提案 重点項目の決定、日常の指導について検討、提案 公開授業、協議
7	校内少年の主張 学園学力向上部研修（29日）	校内少年の主張原稿づくり（人権作文） 授業づくり研修（講師 慶應義塾大教授 藤本和久）
8	校内研修（8日） 1 授業公開計画完成（ 日）	「人権学習の授業づくり」（県教育センター出前講座） 1 授業公開予定の集約
9	6年目研修公開授業＜2回目＞（ 日） 6年目研修校内研修発表（ 日）	公開授業、協議 オンデマンド研修の受講内容について校内研修を行う
10	初任者公開授業（23日）	公開授業、協議
11	人権教育部会 学年部会	人権週間の取組の検討、提案 人権学習授業の題材または指導項目決定
12	人権週間（4～10日） 学年部会 学校評価	学級・学年・生徒会での取組 授業公開日の学習指導案作成 生徒・保護者・教職員アンケート
1	人権授業公開日（16日） 学校評価分析 フォローアップ研修公開授業（ 日）	授業準備・実践 管理職 →研究（分掌）部会・学年部会・校内委員会 公開授業、協議
2	学校評価まとめ 学校運営協議会 6年目研修課題研究校内成果発表 フォローアップ課題研究校内成果発表	研究（分掌）部会・学年部会・校内委員会 →管理職 →全体へ 学校評価結果の報告 課題研究の成果について校内で発表を行う 課題研究の成果について校内で発表を行う

※実践の状況に応じて職員会議等で先生方や学年部等の取組が共有できるよう研究部から発信できるように工夫する。